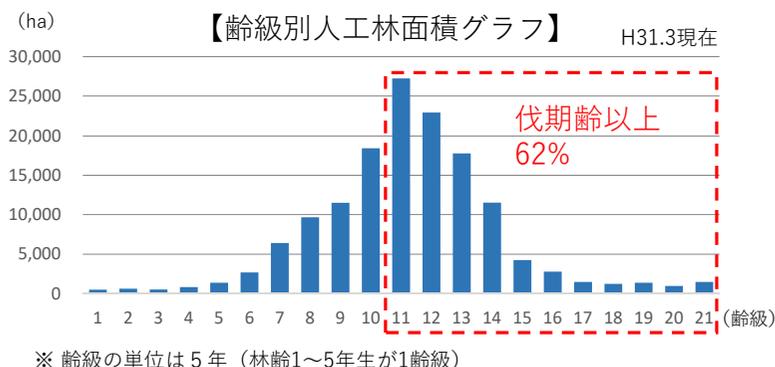


森林整備等

- ◆ 充実した人工林資源の循環利用を進めるため、伐採、再造林・間伐等の**森林整備を積極的に推進**
- ◆ 伐採後の確実な再造林と施業の効率化・低コスト化を図るため、**伐採と植栽の一貫作業システムを導入**

□ 森林資源の循環利用

戦後から高度経済成長期に植栽された人工林の6割以上が50年生以上となり、本格的な利用期を迎えている



充実した人工林資源を活用するため、伐る→使う→植える→育てるといった**循環利用を積極的に推進**

< 森林資源の循環利用 >



□ 森林整備

資源の循環利用を進めるため、主伐後の再造林を確実に行うとともに、間伐等を積極的に実施

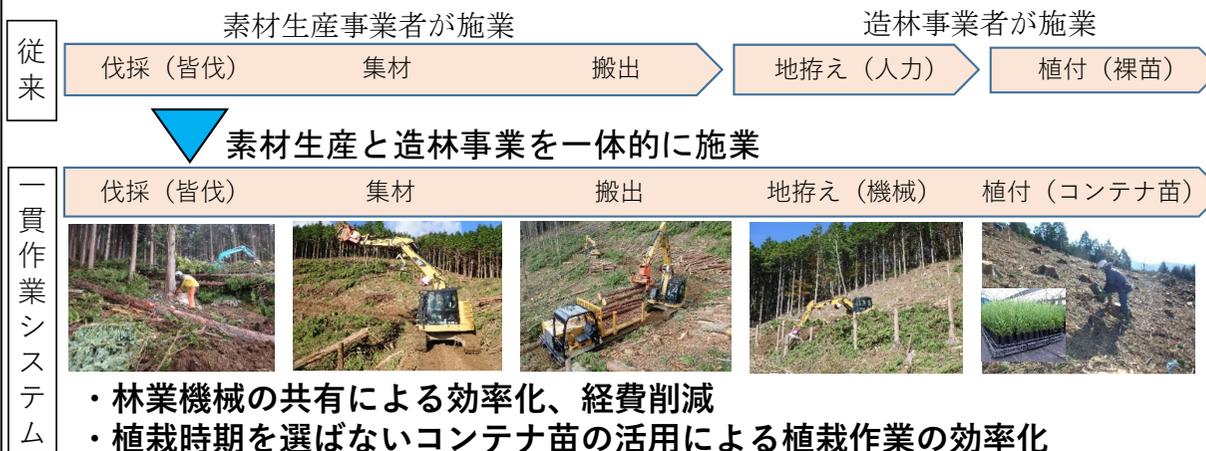
森林整備実績 (R1～R3)

作業種	面積 (ha)
再造林	472
間伐等	18,314
計	18,786



□ 一貫作業システムの導入

伐採から植栽までを一体的に行う「一貫作業システム」を導入し、低コストで効率的な再造林を実現



[取組実績 (R1～R3)]

民有林 13箇所 9ha 県有林 21箇所 33ha 計 34箇所 42ha

- ◆ 森林環境税を活用し、荒廃した人工林を針葉樹と広葉樹が混じり合った針広混交林に再生するなど、森林の公益的機能を維持・増進
- ◆ 気象害等により機能が低下した保安林について、指定目的に即した機能が発揮されるよう改良等を実施
- ◆ 松くい虫やナラ枯れ等の森林病虫害防除対策を推進

□ 森林環境税事業

森林を県民全体で守り育て、次の世代へ引き継ぐため、森林環境税により多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくりを推進

○ 荒廃森林再生事業

荒廃した人工林を間伐し、針広混交林に誘導

[整備面積 (R1~R3) : 1,348ha]



荒廃森林の間伐

○ 里山再生事業

整理伐により長期間放置されヤブ化した里山林を再生

[整備面積 (R1~R3) : 320ha]



整理伐

○ 広葉樹の森づくり推進事業

伐採後、森林に回復していない林地に広葉樹を植栽

[整備面積 (R1~R3) : 19ha]



広葉樹の植栽

□ 保安林整備事業

機能が低下した保安林の改良・保育を実施



気象害・獣害等の被災地



改植実施後

保安林整備実績 (R1~R3)

- ・ 改良事業 整備面積 537ha
- ・ 保育事業 整備面積 408ha
- 合計 945ha

□ 森林病虫害防除事業

松くい虫やナラ枯れ等の森林病虫害の防除対策を推進

○ ナラ枯れ被害

全国のナラ枯れ被害は、平成22年の325千m³をピークに被害量は減少傾向にあったが、近年、被害の範囲が30府県から42都府県に拡大し、本県においても令和元年に初めて被害を確認



本県のナラ枯れ防除対策



防除対策実績 (R1~R3)

松くい虫被害対策 10,819m³、ナラ枯れ被害対策 3,735m³ 2 - 20

◆ウィズコロナ・ポストコロナ時代における森林空間の利用ニーズに対応し、東京圏に隣接する本県の豊かな森林の保健休養機能を幅広く提供するための整備を推進

□森林公園 武田の杜

森林セラピーによる森の癒やし効果を提供
地元の観光協会等と連携したセラピープログラムの提供



セラピー弁当



昇仙峡のオプションツアー

基地の専属ガイドによるセラピープログラムの提供



湯村温泉

セラピープログラムの事業実績

	R1	R2	R3	計
実施回数	41	39	28	108
参加人数	295	428	158	881

□森林公園 金川の森

新たな森林セラピー基地の整備
令和4年度の森林セラピー基地認定に向け、森の癒やし効果を高めるための整備を推進



森林内の散策路



木材チップを敷設した歩道



あずまや設置

事業実績：歩道217m、サイン15基、あずまや1基（R3）

□保健休養施設 清里の森

上質な森林リゾートライフを楽しむ場の整備
別荘地としてのステータス向上と一般利用者に向けたサービスの質を高めるため、センター施設をリニューアル



森の音楽堂の改修



バーベキュー施設の新設

事業実績：森の音楽堂施設改修、バーベキュー施設新設等（R3）

□おもてなし森林景観創出事業

美しい自然景観を楽しむ場の整備
富士山や南アルプスなど本県の豊かな自然景観を楽しめるよう、眺望を阻害する立木の伐採や休憩施設・道標の設置などを実施



富士見山（身延町）



天下茶屋（富士河口湖町）



展望ベンチ



道標

事業実績

	R1	R2	R3	計
整備箇所数	8	6	7	21

